

五ヵ月ぶりに授業始まる

和泉地区(一年次生)は18日に

21日からは工農四年次生も

十日の神田地区最終学年の授業再開に続いて、大学当局は十八日の和泉各学部一年次生、二十一日和泉三年次生、生田工・農四年次生、二十四日神田三年次生、短大二年次生の一連の授業再開スケジュールを発表した。また生田地区一

二・三年次生、一部一・二年次生の授業再開はみなお流動的であるが、遅くとも十二月中旬までには再開される見通しである。

全共闘は“阻止行動”を

十月からの神田地区では最終学年の授業が再びはじまることが、全共闘本部会議の決定により、十月十五、十

七日を休校とし、十八日(火)からの和泉地区法・商・政経・文・経済の各学部一年次生の授業が開始されるほか、二十一日(金)和泉地区各学部二年次生、および生田地区工・農両学部四年次生の授業が再開される予定である。

工・農両学部は来る二十一日、全四年生に十八日から開始する旨の説明パンフを郵送したが、その後の諸情勢により、二十一日に延期されたもの。

また、二十四(日)からは神田地区の法・商・政経・文・経済各学部(一・二部とも)三年次生、短大一年次生の授業が再開される予定になっている。なお、一部文学部三年次生は、四年とのカリキュラムの関係により、若干遅れる見通しである。

生田地区工・農学部三年次生以下は二十一日に始まる四年次生より、約二週間遅れて授業再開になる模様である。

また、二部の各学部一・二年次生は今のところ十二月十五日に開始する予定であるが、大学当局としては一週間位早める方向で検討している。

なお、全共闘派学生は「一連の授業再開に対して、阻止行動を展開する」旨の打出しがあり、十七日の首相訪米阻止闘争後のキーンパスは、再び現況が予感されている。